

令和4年度 学校自己評価システムシート (県立豊岡高等学校)

W10

目指す学校像	地域に根ざし豊かな人間性を培う進学校
--------	--------------------

重点目標	1 学力向上に向け、授業改善に取り組む 2 個々の生徒の進路希望に応じた指導を充実させる 3 基本的な生活習慣の改善を図るとともに生徒の自律性を養う 4 生徒会行事・部活動を充実させ、主体的な学校生活に取り組みさせる 5 開かれた学校づくりに取り組む
------	---

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	4名
	生徒	5名
	事務局(教職員)	12名

学校自己評価							
年度目標				年度評価(2月2日現在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度 次年度への課題と改善策	
1	生徒が授業に臨む姿勢は、概ね良好であるが、進路実現に向けて日々学習に取り組んでいる生徒がいる一方、その取り組みが不十分である生徒も見受けられる。進路実現に向けたさらなる学力向上のため、授業、豊高ゼミ、進学講習、家庭学習などにおける、積極的な学びの定着と、「豊高手帳」の活用を通じた、自己管理、自学自習の確立が課題である。	授業の予習復習を含めた家庭学習の定着や、時間の有効活用を促す。	①生徒の積極的な学習への取り組みを一層促し、学力の向上を図り、それが進路実現につながるように、教材研究、授業改善、研修等を行い、指導力を向上させる。 ②「豊高手帳」の積極的な活用による自己管理を通して、家庭学習の時間を確保し、定着を図る。 ③授業3ヶ条が学校(生活)に定着するよう、生徒に呼びかける。	①生徒の積極的な取り組みを促すような指導力向上が見られたか。 ②「豊高手帳」を活用し、時間管理・自己管理ができたか。 ③授業3ヶ条の励行を生徒に呼びかけたか。	目標を概ね達成できた。 ①ICT活用の授業実践や、協調学習・グループワーク等を通じた「主体的対話的で深い学び」を実現するための試みが行われた。 ②「豊高手帳」に学習時間、定期考査結果、反省等を記録させ、自己管理を促した。担任を中心に、手帳を日々の指導に生かした。 ③授業3ヶ条の励行を教室掲示、担任、集会等を通して働きかけた。	B	生徒がこれからの時代に求められる資質・能力を身に付けられるよう、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が求められる。また引き続き自己管理を促すと共に、積極的な自学自習や家庭学習の時間を増やす工夫も必要である。
2	生徒の進路希望は多岐にわたる。また、受験方法も多種多様になった。大学のグローバル化や新大学入試に対応し、生徒の進路実現に向けた進路指導を行うためには、的確な進路情報の収集と集約・発信・共有が必要である。大学・専門学校・就職など生徒の様々な進路希望に対応した、きめ細やかな進路指導の充実が課題である。	生徒の進路実現に向け、継続的な指導を行うとともに、指導力の向上を図る。	①生徒に対して適切なガイダンスを行うとともに、保護者に対しても説明会を行う。さらに職員向けの研修会も実施し、情報を共有する。 ②豊高ゼミやその他の進学講習など計画的に実施する。 ③研修会・研究会への参加を通して、進路情報等を収集・整理し、全職員に情報を共有し、進路指導に生かす。	①要点を絞った効果的なガイダンスや、保護者説明会、職員研修が実施できたか。 ②進学講習等が計画的に実施し、生徒への意識付けができたか。 ③各種研修会・研究会により進路情報を収集し、指導に生かすことができたか。	目標をほぼ達成できた。 ①各年次とも生徒・保護者に適切なガイダンスや保護者会等を実施できた。進路Q&Aを実施することができた。 ②豊高ゼミや各種進学講習を年間通して計画的に実施できた。様々な方法で生徒へ参加の呼びかけを行い実施することができた。 ③大学説明会や、ベネッセ等の入試研究会に参加し、得られた情報を生徒向け各種ガイダンスや保護者会、進路だより等を通して情報提供ができた。	A	①来年度も引き続き要点を絞ったガイダンスを効率よく実施する。 ②各種進学講習を生徒が積極的に参加できるよう、計画的に実施していく。 ③令和7年度入試の動向を注視し、積極的に情報収集活動に努める必要がある。
3	学校全体として落ち着きはあるが、その反面、教員の目の行き届かない場面における規範意識が低い生徒もいる。 今後の課題としては、教員の指示や目がなくても生徒自ら律する力を様々な面で養うことである。	生徒の状況を常に把握し、現状を踏まえた上で適切な指導を行う。また、教職員全体の共通理解を深め、継続的な指導を実践する。生徒が安心して学校生活を送れるよう環境を整備する。	①朝の登校指導や様々な場面において、生徒の様子をしっかりと観察し情報の収集に努め、実態を正確に把握する。 ②スクールカウンセラーや養護教諭、担任との情報共有に努め、適切で細やかな指導を行う。 ③全職員で指導方針を共有し、共通理解のもと指導を実践する。	①情報収集を行い、現状を的確に認識できたか。 ②適切な情報交換ができ、生徒への指導がうまくできたか。 ③個々の生徒に応じた対応を行い、自律を促す支援が行えたか。	目標をほぼ達成できた。 ①朝の登校指導や校内巡回を通じて生徒の状況を常に把握することができた。 ②情報交換を行い各方面との連携を図り、適切な指導が行えた。 ③年度当初に生徒指導方針を提案し全職員の共通理解を得て指導を行った。年次・担任・部顧問などと連携し、個々の指導・支援を行い、必要に応じて職員全体に報告し情報を共有することができた。	A	自転車通学者が増えているので事故防止のための指導を続けていく必要がある。また、懲戒指導には至らないものの生徒間のトラブルはあるので、特にSNSの使用に関しての指導、注意喚起を行う必要がある。
4	運営方法や形態を工夫しつつ、コロナ禍に対応する形で生徒会行事を行ってきている。限られた放課後の時間のなかで本部役員はよく頑張っているが、後継者の育成が大きな課題である。	各種実行委員会や生徒会本部を機能させ、業務や行事等の円滑な運営を図る。 iPad等のツールを駆使し仕事の効率化を図る。	①生徒総会や定例会を通して新たな行事や取り組みの設定を行えるよう検討を進める。 ②これらを通し生徒の主体的な活動および生徒会組織の維持に努める。	①新たな形態での行事の設定や取り組みができたか。 ②生徒会活動への理解を深め生徒の主体的な活動および組織の維持に努められたか。	目標をほぼ達成できた。 コロナ禍での生徒会行事は規模を縮小せざるを得ない状況ではあったが、各種委員会や生徒会本部の活動を工夫し、主体的に行うことができた。生徒会役員選挙は期間を要したが、立候補者が揃い74期生徒会本部を発足させることができた。	A	コロナ禍で生徒会活動が制限される中、生徒会役員の生徒はさまざまなアイデアを出し合いながら、生徒会行事のマニュアル作成や映像作成など本当によくがんばってくれたが、さらに全校生徒が楽しめる生徒会活動にできるよう、検討を加えていきたい。
5	新型コロナウイルスの影響により、PTA行事の中止はもちろん、諸会議においても書面での開催が多く、その活動自体が停滞傾向にある。新入時の役員選出ほかいくつか課題もあることから、今後さらなる学校と保護者との連携が求められる。	コロナ禍の厳しい状況下において、一定程度のPTA活動の維持・継続を図る。	PTA本部役員を中心に(現状、各種委員会が本部役員に委ねられているため)、行事の精選あるいは日程・内容の調整を行う。	行事の特性などを考慮した上で、実施の可否を含め柔軟な対応ができたか。	目標をほぼ達成できた。 コロナ禍での活動(感染状況を踏まえた中での臨機応変な対応)も定着し、その運営については滞りなく進めることができた。とりわけ、進路Q&Aや文化財見学を実施することができ、ある程度保護者のニーズに応えることができたと思われる。	A	活動自体は、一定の成果をみせているものの、新役員の選出方法やPTA関連行事の見直しなど検討事項も多く、今後に向けての大きな課題も残っている。

学校関係者評価	
実施日	令和5年2月7日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
○授業改善により引き起こされた学力向上・生徒の学びの変化等の具体的な成果を表記するとい。 ○「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業として評価するには、生徒一人ひとりの「深い学び」が達成されているかの観点が必要であり、「深い学び」の向上は自学自習に繋がる大事なポイントになる。 ○生徒個々の予習・復習等の家庭学習の進捗状況を確認し、各自が希望する進路を実現するための学習習慣を身に付けさせるとよい。	
○進路情報の収集はとても重要である。全教職員で共有し生徒・保護者への説明等が適切に行われていることは評価できる。 ○変容する入試の動向をとらえ、生徒に必要な情報を随時伝えるとともに、多様化する個々の生徒の進路実現をサポートするべく、担任・年次団・進路指導部・各教科が連携して個に最適な進路指導が行われるのがよい。 ○進路指導の結果として得られた成果を、どのように評価するのか明確にしておく、更に充実した進路指導に繋がると考える。	
○毎朝の登校指導など、ご苦労様です。自転車通学・SNSなどの指導・いじめ対策等きめ細かく実施されており評価します。 ○指導の結果、生徒にどのような変容・成果があったのか表記されるとよい。 ○生徒の希望する将来のために、必要とされる内容の指導を随時行うとよい。 ○女子制服にスラックスを導入したのはよかった。 ○交友関係・進路関係・家庭関係等の相談を担当・年次と連携して保健室やカウンセラーが受けているのはよい。	
○生徒会役員の生徒との懇話会でしっかりした発言が聞かれ、日頃の活動の様子がよく理解できた。 ○生徒が社会へ出る前の準備期間を大切に過ごせるよう、高校時代に生徒会活動や部活動を通して真の友情を育む指導をしていただきたい。 ○生徒会行事の準備を意欲的におこなっている。1年次生も自分たちが2年次生になったときに、主力になり、生徒会を盛り上げて豊高生を牽引できるように頑張っている姿が見られる。	
○学校・家庭・地域の連携の重要性が指摘されているなかで、PTAの果たす役割は大きいと思われる。役員選出・同窓会機能などバックボーンの強化に向けてご尽力いただきたい。PTA保護者役員との意見交換を通じて、学校の要望や意向を汲んだ事業計画立案ができるとよい。 ○コロナ禍においても積極的に活動を進められる行事や取り組みを厳選しておこなう必要がある。 ○広報部の評価シートに行動の結果、どのような変化が起きたか記載されているのがよかった	